

でもなく、加之生産業の發達を阻害することになるから、この點は社會主義の親玉共が攻撃した資本主義と云ふもの、眞理及び價値を認めて併用するのだ。則ち國家が當るべき事業は國家が當り、個人が當るべき事業は個人が當ると云ふ現實的經國策の問題となる。

次に國家に徵發した大資本に對しては、公債でも代へてやるかとの質問が起るだろう。無論全然無價だ。但しこれには當分日本國民は一家合して壹百萬圓に限り私有財産を容るすことを原則とするから、岩崎でも三井久原大倉の如きでも壹百萬圓丈は残るので、すぐ明日から乞食には及ばぬ筈。明

治御維新のとき 明治大帝は、諸侯の土地を沒收されたが、その節諸侯の土地の上には幾十億、今日に換算すれば幾百億と負つて居た大町人からの借金は、一片の大政官合でフイになつた御手本を見ろ。レーニン位の男は何疋といふほど腰にぶらさげて御座つた。あの鮮やかな御出來榮が理解出來たら今度の日本村の改造なんざ朝飯前のことだ。

三、都會地の土地處分

次ぎは大地主の土地處分、又都會地の土地處分だ。先づ都會の地土地所分から片付ける。家賃が高くて年百年中大家の